

古典へと

現代の

令和元年度京都市文化賞奨励賞受賞

木ノ下裕一スペシャルトーク

2022年

3月16日「水」18時00分～20時30分

※開場は17時より

京都市立京都学・歴史館大ホール

入場無料、要事前申込 ※申込み方法は裏面

(定員:240名・先着順、定員に達し次第受付終了)

【第一部】講演

「オープニングトーク」

木ノ下裕一「木ノ下歌舞伎主宰」

「古典×現代で見る

近現代演劇史

～活歴から木ノ下歌舞伎まで～」

児玉竜一「早稲田大学教授」

「関西演劇界と古典芸能の

交わりについて」(聞き手:木ノ下裕一)

畑律江「毎日新聞社会学芸部専門編集委員」

「古典の現代化について

～実作者の立場から～」

茂山千之丞「大藏流茂山千五郎家狂言師」

【第二部】クロストーク

出演:

木ノ下裕一

児玉竜一

畑律江

茂山千之丞

(交差点)



主催:京都市 協力:文化庁 地域文化創生本部

「令和元年度京都府文化賞奨励賞受賞」
木ノ下裕一スペシャルトーク

古典と現代のインターセクション(交差点)

この度、京都府文化賞奨励賞を受賞された木ノ下氏をお招きし、「古典と現代のインターセクション(交差点)」と題したスペシャルトークイベントを開催いたします。

歌舞伎演目を現代演劇の切り口から上演し、常に演劇界に新風を巻き起こしている京都拠点の劇団・木ノ下歌舞伎。主宰の木ノ下裕一氏は、演劇活動にとどまらず、講演や執筆、また、コクーン歌舞伎の台本や、神田伯山の講談の補綴など外部での活躍もめざましく、注目を集めています。

歌舞伎研究者であり、早稲田大学演劇博物館副館長の児玉竜一氏と、関西の演劇シーンに造詣の深い畑律江氏、プレイヤーとして数々の作品を手がけ、伝統の価値を問い続ける茂山千之丞氏をお招きし、それぞれの観点から「古典と現代」についてお話いただきます。クロストークでの白熱の議論もお見逃しなく！

2022年3月16日「水」18時00分—20時30分 ※開場は17時より

京都府立京都学・歴史館 大ホール

入場無料、要事前申込(定員:240名、先着順、定員に達し次第受付終了)

申込方法:3月9日までに電話、メールにて本人、同伴者1人までの氏名・Eメールをお伝えください。

申込・問合せ:府民総合案内・相談センター 075-411-5000 / 411-5000@pref.kyoto.lg.jp

「第一部」講演

「オープニングトーク」木ノ下裕一

「古典×現代で見る近現代演劇史

〜活歴から木ノ下歌舞伎まで〜」児玉竜一

「関西演劇界と古典芸能の交わりについて」畑律江

「古典の現代化について〜実作者の立場から〜」茂山千之丞

「第二部」クロストーク

出演:木ノ下裕一×児玉竜一×畑律江×茂山千之丞



木ノ下歌舞伎 上演写真

『勸進帳』(2016)
演出:杉原邦生[KUNIO]
撮影:井上嘉和/提供:KYOTO EXPERIMENT

『糸井版 摂州合邦社』(2019)
演出:糸井幸之介[FUKAI PRODUCE 羽衣]
撮影:東直子/提供:ロームシアター京都

『娘通成寺』(2019)
演出:きたまり[KIKIKIKIKI]
撮影:井上嘉和/提供:京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

木ノ下裕一 きのしたゆういち 「木ノ下歌舞伎 主宰」

1985年和歌山市生まれ。2006年、京都造形芸術大学在学中に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。2016年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回(令和元年度)京都府文化賞奨励賞受賞。令和2年度京都市芸術新人賞受賞。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。渋谷コクーン歌舞伎「切られの与三」(2018)の補綴を務めるなど、古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

児玉竜一 こたまりゅういち 「早稲田大学教授、早稲田大学演劇博物館副館長」

昭和42年兵庫県生まれ。早稲田大学大学院から、早大助手、東京国立文化財研究所、日本女子大学などを経て現職。専門は歌舞伎研究と評論。編書に『能楽・文楽・歌舞伎』共編著に『カブキハンドブック』『映画のなかの古典芸能』など。「朝日新聞」で歌舞伎評担当。2013年より早稲田大学演劇博物館副館長。

畑律江 はたりづえ 「毎日新聞社会学部専門編集委員」

大阪市生まれ。毎日新聞社入社後、神戸支局記者、大阪本社社会学部記者、デスク、地域面・夕刊特集版編集長などを経て、2013年より社会学部専門編集委員(舞台芸術担当)。地域と舞台芸術のかかわりに関心を持ち、古典芸能から小劇場まで、年間約200本の舞台を観劇。紙面ではコラム「劇場のビクニク」を連載中。演劇誌などにレポートや評も執筆する。

茂山千之丞 しげやま せんじろう 「大蔵流茂山千五郎家狂言師」

1986年「魔法使いの弟子」(ZOO劇団)で初舞台。狂言師としての活動の他、作・演出も行うコント公演「ビヤクマンペン」と新作狂言の会「マロウジ」にも力を入れている。現代劇ではオン・ケンセン演出「三代目、りちやあと」(2016)、多田淳之介演出「ゴドー」を待ちながら(2019)出演。2018年三世茂山千之丞を襲名。第37回(平成30年度)京都府文化賞奨励賞受賞。

京都府立京都学・歴史館

京都市左京区下鴨半木町1-29 Tel: 075-723-4835

アクセス:JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車(①出口)南へ徒歩約4分/京阪出町柳駅から京都市バス1府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分/JR二条駅から京都市バス206 府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分
※ご来場には、地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用ください。

◎京都府文化賞とは、京都府における文化の振興と発展を図るため、京都文化の向上に寄与された方の顕彰を行う制度です。(昭和57年創設)

◎このイベントは2020年3月に新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったものを、一部内容を変更して開催するものです。

